

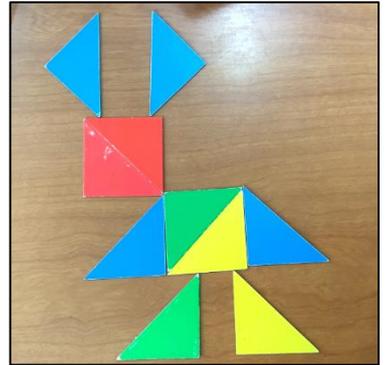
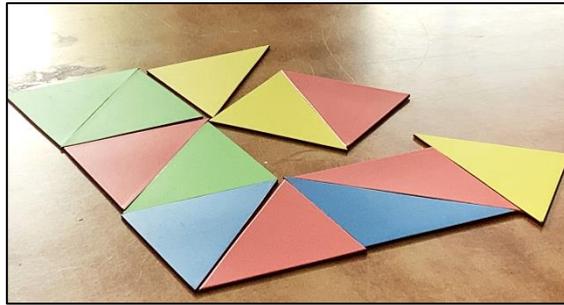
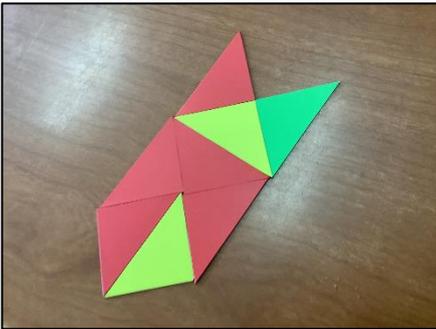


1年生は、タブレットの使い方を練習し、少しずつ授業で取り入れてきました。

算数「かたちづくり」と、図工「てんをかさねて」で、ロイロノートを活用した様子を紹介します。

## ◎算数「いろいろなかたち」

三角形の色板を組み合わせて、自由に形を作る学習です。できた形をタブレットで写真に撮って残せるため、子供たちは次々といろいろな形を作っていました。また、できた形を友達と見合うことも簡単にでき、認め合ったり参考にし合ったりすることができました。



## ◎図工「てんをかさねて」

この学習は、もともと丸シールをたくさん使って絵を作る学習ですが、今回はロイロノートに点で絵を描く方法で行ってみました。失敗を気にせず何度でもやり直せる、使えるシールの色や数に制限がなく、たくさんの作品を作ることができる、普通のペンだけでなく、蛍光ペンの機能を使うことで、少し透けた色も使うことができ、工夫して作品作りができるなど、タブレットで行うことのよさがいくつもありました。子供たちは、授業が終わった後も作品作りに夢中になり、表現することを楽しむことができました。



この他にも、「ミライシード」で漢字や算数の練習問題に自分のペースで繰り返し取り組んだり、運動会の時期にはダンスの見本動画を配付したことで、放課や家に帰った後に自分で練習ができたりしました。また、「ビスケット」のアプリを使って、自分で描いた絵を動かすプログラミングの基礎を勉強することも行っています。

### 【校内情報教育部会より】

「みんなで共有できる」「失敗を気にせず何度でもやり直せる」など、タブレットを活用することで、友達と関わりながら前向きに学習に取り組むことができました。図工での「蛍光ペン」機能を活用した制作活動は、タブレットだからこそできる表現の一つです。  
今後のタブレット学習も楽しみにしています。